

令和6年7月10日

事業報告

講座名	令和6年度やまぐちキッズスクール 第2回
日時・場所	7月6日(土) 山口県セミナーパーク
参加者数	参加者: 19組55人(子ども30人、大人25人)

1 概要

本事業は、県内の4歳～小学3年生およびその保護者を対象とする全3回の体験学習事業である。下記を目的とし、7月6日に第2回目を実施した。なお今回は梅光学院大学 赤堀ゼミと(株)サードプラネットに講師を依頼して行った。

<目的>

生命や自然を大切にする心や好奇心、探究心や創造力を高めるきっかけにするとともに、興味関心の共有・表現を通して、他者を理解し、互いを尊重し合う気持ちを育む。

(1)10:00～10:30

アイスブレイク(ジェスチャーゲーム)

開始から30分間はアイスブレイクを行った。ここから梅光学院大学の進行で行った。まずは「貨物列車」という遊びを子ども・保護者と大学生でし、そのあとグループに分かれてジェスチャーゲームをした。貨物列車終了時点で、子どもたちは打ち解け、盛り上がっていた。

ジェスチャーゲームでは、多少恥ずかしがっている子もいたが、大学生のサポートを受けながら、ほとんどの子が親が横にいなくてもきちんと自己紹介をし、堂々とジェスチャーをして楽しんでいた。

(2)10:30～12:00

遊んで壊して、壊して遊んで(あそんでみよう)

まず午前中は、クレーンゲームを壊す前に実際に遊んでみた。4つのクレーンゲーム機のうち3つは中にボールなどのおもちゃが入っており、残り1つはおかしが入っていた。

グループごとに、お約束(順番を守る、遊んでいるお友達を押ししたりしない、お友達がしている時は応援するなど)を守りながらクレーンゲームを楽しんだ。順番ではない子どもはゲーム機に落書きをしたりもした。おもちゃのクレーンゲームは難しくてほとんど取れなかったが、お菓子のクレーンゲームは、予めアームの力を強くしてくださっており、ほとんどの子どもがお菓

子を取ることができて、その瞬間はとても満足そうな顔をしていた。写真撮影タイムも設けてあり、クレーンゲームの中に入れてもらって家の人に写真を撮ってもらう子も見られた。

(3) 13:00~15:00

遊んで壊して、壊して遊んで(こわしてみよう)

午後からはお待ちかねのクレーンゲームの解体を行った。まずは(株)サードプラネットの方から道具の説明と、ドライバーを人に向けないなどのお約束の説明があった。子どもたちもきちんと真剣に説明を聞いていた。

説明が終わったら、いよいよ自分のグループに割り当てられたクレーンゲーム機の解体を開始した。ドライバーを使ってねじを回して、どんどん部品をはずしていった。その間ドライバーの順番を待ったり、自分が取ろうとしていた部品を譲ったり、我慢することや相手を思いやる気持ちも学んでいたようだった。少し危ないと思われる場面は、大学生が体を支えたり、頭を打たないように手を添えたり、的確にサポートしていた。

皆集中して活動でき、けがもなく最後まで終わることができた。子どもたちはまだやりたいと残念がっていた。帰りに学生からのお礼のメッセージカードと、サードプラネットのゲームセンターで使える無料券を配られて解散となった。

